

ポウ展 II Vol.32

2013年12月13日(金)～15日(日) 10:00～20:00 (最終日は16:00)
 兵庫県立美術館ギャラリー棟3Fギャラリー (および 1Fアトリエ1)

入場無料

ポウとは自由奔放という意味です。自分の表現したいモノに向かい、自分に合った素材を見つけ、そうして、よりオリジナルなものに価値を見出す。ポウの集まりは自由な精神の集まりです。ポウ展は今年で32回を迎えました。多方面で活躍するポウ展のメンバーたちのますます進化したアートは是非ご高覧くださいませ。 主宰 柄原 敏子



① 中山トモ子
Tomoko Nakayama

大自然の恵みの中で 順調に又あたりまえの様に暮して来た日々を改めて感謝です。そんな思いを 道に託して描いています。



②mapu

身の回りのものをふと見るといい形してるんです。そんな「すでにそこにあるもの」が散らばっているアートです。



③住中進吾
Shingo Suminaka

私にとって絵を描くという事は精神と肉体の境界面を探る行為です。水面という水と空気を隔てる境界面を肉体と精神の境界面に重ね合わせ物質世界と絵の世界を隔てる境界面としてのキャンパスに描いています。



④貝塚理佐
Risa Kaizuka

普段は心の奥深く眠っているような、自分でも忘れていた気持ちや記憶を表現できたらと思い描いています。見てくださった方の心にそっと触れられたら嬉しいです。



⑤ 大塚温子
Atsuko Otsuka

現実という壁におされて、どんどん小さくなりがちな、もうひとつの心の空間ですが、ふと感じる一瞬の感覚を、できるだけ素直に表現できたらいいなと思っています。



⑥榊原メグミ
Megumi Sakakibara

光の中で、さまざまなエネルギーがぼこぼこ、むくむく、トコトコ、ふわ～んと、うごめいて「今ここに生きている奇跡」を存分に楽しんでます。その喜びを共に楽しみ、表現したいと思っています。



⑦山田晶子
Akiko Yamada

岩絵具と青墨。そぎ落とした色彩と線で禁欲的な表現を意識する。水という「動」あるものを「静」として描くことにより日本人の美的理念である「ものあわれ」を表現していきたい。



⑧金田尚子
Hisako Kaneda

そこに在るものを感じて捉えようと気持ちを添わせているうちに、気がつくといつかは感じている感覚になります。その世界に身を委ねながら、時に共犯者として、時に傍観者として向かい合えたらと思っています。



⑨ 迫田貴久子
Kikuko Sakota

一歩ずつ進んでいくとある日全く見慣れない景色が現れる。新しい世界。



⑩コウノ真理
Mari Kono

以前は、無彩色の作品が多かったのですが、昨年鮮やかな色にも惹かれるようになりました。人は単純に美しい色彩を見るだけで、心が癒されるのだと思います。「ブース No.10」では、個展とは違う美術館の広い空間だからできる表現にチャレンジしたいと思っています。カラフルで陽気な世界をお楽しみ頂けたら幸いです。



⑪山口よしこ
Yoshiko Yamaguchi

自然への畏敬の気持ちや祈りのようなもの。季節の移り変わりによる光や空気の変化。地球の鼓動、音楽のようなもの。そんなものを表現できたらと考えています。



⑫ 荒木 きよこ
Kiyoko Araki

大自然の空の下～ やわらかい光の風が吹き抜ける森の中で生息している全ての生き物達に感銘を受けながら過ごす森の休日。私の、絵画への活力です。



⑬ Pen2

日々感じた事、こうであらうの事、思い出を日記の様に描きとめます。生きていくと良い事も悪い事も、良かったことはそのまま作品となり、悪かった事は作品を描く事で浄化されると考えています。



⑭伊藤みえこ
Mieko Itoh

やや厚めに盛り上げたマチエールに色を重ねていくと、やはり黒と白を基調とした無彩色の世界になります。私の心の中の無意識の様々な思いが結集して静かに鎮まった作品を愉しんで頂けたら.....と思います。



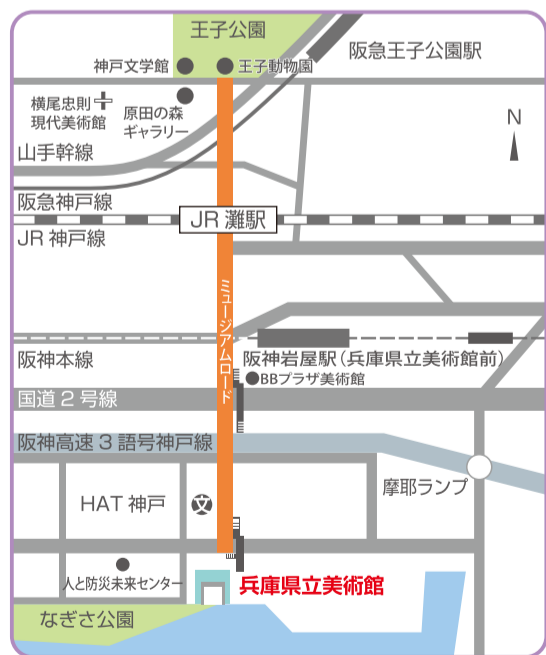
⑮松田早代
Sayo Matsuda

近年、有機の野菜畑を始めて驚くほどの量と種類の命を見てきた。どの命もその一瞬一瞬を生きるさまには圧倒され魅了される。自然が美しいのは命が息づいているから。私も自然の命を今生きていると思えた。



⑯藤飯千尋
Chihiro Fujii

Landscape(風景)ー それは私の心を写し出す鏡 自分との対話 雄大な山は道しるべをしてくれ、永遠に広がる空はやがてメロディーを奏で始める 私の祈りと共に



兵庫県立美術館
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
HAT 神戸内 tel: 078-262-0901 代表
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

アクセス

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分、JR 神戸線灘駅(灘)から南に徒歩約10分、阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分 JR 三宮駅南から阪神バス、神戸市営バス29.101系統で「県立美術館前」下車すぐ

ライブパフォーマンス!

ギャラリー棟 1Fアトリエ1にて、楽しいイベント満載!

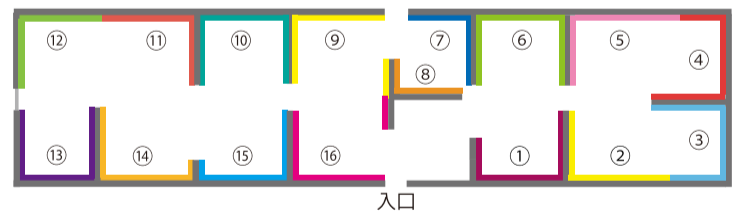
▼10:30～ **13日(金)**
●看板アート (ポウ展メンバーが展覧会の看板を制作します。見学自由!)

▼13:00～ **14日(土)**
●Pen2ワークショップ (参加自由!)
(木とそこに集まる動物や花を自由に描こう!)
▼15:00～
●住中進吾 (ライブペインティング)

▼14:00～ **15日(日)**
●コウノ真理ワークショップ (参加自由!)
(身近なモノでアートしてみよう~!)

ワークショップは、どなたでも参加OK!(お子様大歓迎!)
参加ご希望の方は汚れてもいい服装で、アトリエ1にお越し下さい。(途中参加OK!) 手を洗う場所あります。

3Fギャラリー室 ブース一覧



震災復興プロジェクト
「きもちのきのみをみのらせる」

ポウ展では2004年の新潟県中越地震後の募金活動をきっかけにさまざまな支援活動を続けています。現在東日本大震災の復興支援活動に力を注いでいます。この度、展覧会の会期中にご来場いただいたみなさまに被災地へむけてメッセージを書いたカードを木の実に見立てて木に飾っていただくイベントを開催します。神戸から東北への「きもちのきのみ」をいっぱい実らせるイベントにぜひご参加ください。会期後収穫して被災地にお届けします。